

龍谷大学親和会 龍谷ミュージアム

無料ご優待券

龍谷ミュージアム 無料ご優待

期日:2019年3月末日まで

※1回のご来館につき、親和会員(保護者)を含め2名まで、無料で入館いただけます。

※期間中何度でもご利用いただけます。

※ご優待券をミュージアム受付でご提示ください。

Ryukoku 親和会だより

112号
2017.3



親和会・親和会だよりに関するご意見、ご要望などは下記までお寄せください。



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学 親和会事務局

編集:龍谷大学 親和会だより編集委員会

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

Tel:075-645-7888 Fax:075-642-8867

Mail:sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp

CONTENTS

2016年度親和会海外研修奨学金(春期)・学生生活動奨励金授与式	03
受賞者コメント	04
2016年度 親和会海外研修学生一覧	05
2016年度 親和会学生生活動奨励金授与団体一覧	
NPO・ボランティア活動センターの取り組み	06
インターンシップ体験記	10
就職活動体験記	12
Information	14
Schedule 2017年4月～9月	15
保護者相談窓口のご案内	

表紙写真:

世界17カ国の留学生・日本人学生が広島平和プログラム2016に参加!

2016年7月1日から3日にかけて浄土真宗本願寺派広島別院と龍谷大学、龍谷大学親和会の共催事業として「広島平和プログラム2016」が開催されました。今年で22回目を迎え、アメリカ、エチオピア、ウクライナ、オーストラリア、大韓民国、中国など、世界17カ国から、3名の日本人学生を含め計23名が参加しました。本願寺広島別院での事前学習講義、平和公園、原爆ドーム、平和記念資料館等の見学、『平和を願う念仏者の集い』の参加、『全戦争死没者追悼法要』での献華、ホームステイなどの交流も含め、本プログラムで私たちは多くの貴重な経験をしました。原爆・戦争の過ちを繰り返さぬよう、一人一人がこの経験を活かし、平和のために私たちができることを考え、行動し、各国の人々に伝えていきたいと考えます。このたびは親和会助成によるご支援に心より感謝申し上げます。



2017年1月16日(月)、京都東急ホテルにおいて、2016年度親和会海外研修奨学金(春期)、学生生活動奨励金の授与式を開催しました。

海外研修奨学金は、龍谷大学、龍谷大学短期大学部の学生の国際人としての育成を目的として設けられています。募集は、第1学期(夏期)と第2学期(春期)の年2回実施され、書類審査、面接審査を経て決定します。第1学期には3名が奨学金を受け、夏期休暇中に海外での研修に取り組みました。今回、第2学期では、5名が春期休暇中に海外へ赴きます。

学生生活動奨励金は、龍谷大学、龍谷大学短期大学部における有為な人材を支援するため、自主的な学生生活を推奨することを目的として設けられています。2016年度は、最優秀賞4団体、優秀賞2団体、特別賞3団体の合計9団体が

選ばれました。

今期の対象者(個人・団体)は、5ページに掲載していますので、ご覧ください。

授与式では、長上深雪学生部長に選考結果とともに、各奨学生の研修内容、各団体の成績等の発表をしていただきました。学生を代表して、文学研究科の嵩宣也さん(海外研修)とバドミントン部の清水智彦さん(学生生活動)から喜びの声、これからの意気込みなど挨拶をしていただきました。また、岡玲親和会会長からは、「冷暖自知(真の悟りは自分で感得するものであるということ、水の冷暖を自分で手を入れてみて知るのとえ)」という言葉を用いし、様々な経験を積んで、充実した学生生活を送って欲しいとはなむけの言葉をいただきました。

受賞者コメント

海外研修奨学生



政策学部 政策学科
 きただ しょうた
岸田 昇太 さん

海外研修先 スペイン パルセロナ

研修の目的・豊富

私は今回スペイン・バルセロナで観光問題についてフィールド調査をします。バルセロナでは観光客が急激に増えすぎて街がうまく対処できておらず、地元住民による観光客反対のデモや落書きなどの様々な問題が起きています。調査として、実際に自分の目で起こっている問題を見に行き、地域の人々にもインタビューをしていきます。また今年交換留学生としてカナダで観光産業を勉強する予定であり、その勉強にもつながるので頑張ってきたいです。



文学研究科 真宗学専攻 博士後期課程
 ただけ のぶや
嵩 宣也 さん

海外研修先 アメリカ バークレー
 (大学名: University of California, Berkeley)

研修の目的・豊富

私は、浄土真宗における仏典翻訳の研究をしております。本研修では、3月末に行われる新たな英訳『歎異抄』研究会に向けての資料調査および収集を行うために渡米します。今回の研修でお世話になるUniversity of California, Berkeleyのマーク・ブラム先生は、数々の浄土教に関する翻訳を手がけてきた実績があり、その先生の元で学べる成果は、今後の自らの研究に大きく寄与してくれると確信しています。この機会を活かしてしっかりと学んできたいと思います。

学生活動奨励金受賞団体



最優秀賞 学生会体育局 端艇部

第38回全日本軽量級選手権優勝 舵手無しクオドルブル
 第17回アジアボート選手権4位 舵手無しクオドルブル

この度は、海外研修奨励金に採用していただきありがとうございます。

私たちは、昨年の5月に行われた第38回全日本軽量級選手権に舵手無しクオドルブルという種目に出場し、優勝しました。そして9月に行われた第17回アジアボート選手権に派遣されることとなりました。アジアボート選手権では、4位という結果に終わり、海外選手との体格の差を感じました。今年もまた、アジアボート選手権に出れるよう日々努力を積み重ねます。



最優秀賞 学生会体育局 日本拳法部

全日本選抜ベスト8
 西日本 一部昇格
 全日本大会 ベスト4

昨年、全国大会団体4位という悔しい結果となりました。これを機に今年には部員一同、優勝という目標を持ち精進していきます！

日本拳法とは、打撃・蹴り・組み技を合わせた総合徒手武道です。防具を付けてするので、怪我の割合を大きく減らし、安全面でも安心してできる競技になっています。

2016(平成28)年度 親和会 海外研修奨学生一覧

■2016年夏期 ※授与式は2016年7月29日(金)深草学舎紫英館理事室にて執り行いました。

学部・研究科	名前	コース	研修地	研修テーマ	研修期間
政策学部	小南 諒太郎	自己研鑽	オーストラリア	オーストラリアにおける先住民文化アボリジニの文化及び歴史調査	8/28 ~ 9/2
経営学部	経田 和樹	自己研鑽	オーストラリア	実質最低賃金の高いオーストラリアで働く非正規雇用労働者	8/20 ~ 9/5
政策学部	澤田 侑子	自己研鑽	フィンランド	フィンランドの歴史教育における対り連関係の変換に関する研究	9/8 ~ 9/14

■2017年春期 ※授与式は2017年1月16日(月)京都東急ホテルにて執り行いました。

学部・研究科	名前	コース	研修地	研修テーマ	研修期間
文学研究科	嵩 宣也	研究	アメリカ	『歎異抄』英訳研究会 一新訳『歎異抄』に向けて	3/17 ~ 4/2
国際文化学部	高山 愛	研究	韓国	ソウルメトロ地下鉄 ー日本語表記と日本語アナウンスから考えるわかりやすい翻訳とはー	3/7 ~ 3/16
経済学部	岸田 隆明	研究	オランダ フィンランド	先進国における水・衛生教育の独自のフィールド調査	2/21 ~ 3/1
政策学部	岸田 昇太	自己研鑽	スペイン	スペインの観光問題とその対策の調査	2/3 ~ 2/22
政策学部	糸原 耕平	自己研鑽	イギリス	イギリスにおけるホームレスの現状と問題調査	2/23 ~ 3/5

2016(平成28)年度 親和会 学生活動奨励金授与団体一覧

※授与式は2017年1月16日(月)京都東急ホテルにて執り行いました。

賞	サークル名	主な成績
最優秀賞	吹奏楽部	第39回全日本アンサンブルコンテスト 金賞 第64回全日本吹奏楽コンクール 金賞
最優秀賞	バドミントン部	第67回全日本学生バドミントン選手権大会 男子団体準優勝、女子団体ベスト8 ほか
最優秀賞	端艇部	第38回全日本軽量級選手権大会 男子舵手無しクオドルブル 優勝 朝日レガッタ 男子舵手付きフォア 準優勝 女子舵手付きクオドルブル 優勝 全日本大学選手権大会 男子舵手無しフォア 5位 全日本選手権大会 女子舵手無しペア 4位 ほか
最優秀賞	日本拳法部	第61回全日本学生拳法選手権大会 ベスト4
優秀賞	バトン・チアSPIRITS	第44回バトントワーリング全国大会学校部門大学の部バトン編成 金賞、最優秀賞
優秀賞	女子バレーボール部	第63回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト8 平成28年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 ファイナルラウンド ベスト16 ほか
特別賞	柔道部	関西学生柔道優勝大会 女子優勝 男子3位 全日本学生柔道体重別選手権大会 男子ベスト16
特別賞	マンドリンオーケストラ	ARTE MANDOLINISTICA主催第4回全日本マンドリン合奏コンクール 銀賞
特別賞	剣道部	第62回全日本仏教系大学剣道大会 男子団体 第3位 第48回全日本仏教系大学女子剣道大会 女子団体 第3位



平成28年熊本地震復興支援に関する活動報告

本学では、平成28年熊本地震発災直後から被災地域の現状を考慮しながら、段階的に学生に対して情報提供を実施し、学内外で活動を行いました。学生、教職員が個人的に活動したものとたくさんありますが、ここではボランティア・NPO活動センターに関わりのある主な活動を紹介します。

紹介 龍谷大学ボランティア・NPO活動センターの取り組み

目的: ボランティア・NPO活動センターは営利を目的としないボランティア活動を通じて、相互に学びあうサービスマーケティングにより共生の理念を具現化し、本学の教育研究に寄与することなどを目的としています。

運営: ボランティア活動を促進するため、学生スタッフ、教員、職員が協働して運営を行っています。現在深草キャンパス93名、瀬田キャンパス50名の学生が活動を行っています。

学生の“ボランティアをやりたい”気持ちを応援し、自立を促します！

ボランティアコーディネート

ボランティアを希望する学生・教職員に対して、ボランティアを募集している地域団体や施設などを紹介しています。

ボランティアをする学生をサポート

ボランティア初心者の中にはボランティア入門講座を実施しています。そして、すでにボランティア活動に関わっている学生に向けては、ボランティアリーダー養成講座、ボランティアコーディネーション力3級検定を実施しています。

体験学習プログラムの企画・運営

学生が長期休暇を利用して国内の地域や、治安、衛生環境が安全とされる海外を訪問し、地域が抱える問題に触れると共に、地域貢献、福祉、環境関連の現地NPO・NGO等との交流を通して、課題解決の取り組みを学ぶ「体験学習プログラム」を、夏季と春季の休暇期間に実施しています。



2016年10月の大津祭では、曳き手や会場準備のボランティアとしてたくさんの学生が参加しています。

ボランティア活動の企画・運営

ボランティア活動への参加を通して、社会課題に触れ、考えるきっかけになるようなイベントや講演会を学生スタッフと教職員が協働して企画、運営しています。例えば、2016年度は、瀬田キャンパスでは大津祭、大津ジャズフェスティバル、深草キャンパスでは、南区民ふれあいまつり、深草ふれあいプラザなどに協力しました。

東日本大震災等復興支援のとりくみ

2011年から東日本大震災の復興支援活動を学内外で継続的に行っています。中でも現地で活動するボランティアバスの運行は、2016年度で16回目となり、教職員合わせてのべ498名が参加しました。活動内容は、毎年地元の皆さんと協議して決定し、地元ニーズにそった活動が出来るようにしています。



2016年11月に長年のボランティア活動の功績が認められ、「平成28年度ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受けました。

■「平成28年 熊本地震復興支援に関する活動概要」

日付	活動内容
4/19(火) 4/28(木)	学内での募金活動 大宮・瀬田・深草のキャンパスで学生有志による募金活動の実施。のべ275人の学生が募金の呼びかけを行い、471,000円の募金を熊本県庁と大分県庁に義援金として送る。
4/26(火) 4/28(木)	「ボランティア・ガイダンス」の開催 瀬田・深草キャンパスで、地震で被災した地域にボランティアとして向かおうと考えている学生に向けた「ボランティア・ガイダンス」を開催。約100名の学生が参加。
4/19(火) 7/28(木)	学内での募金箱の設置と教職員等に向けた募金協力依頼 学内に募金箱を設置すると共に、大学関係者(教職員、全国保護者懇談会等)に協力を呼び掛けながら募金に取り組む。その結果、本学の教職員446名から集まった募金と全国保護者懇談会等で集まった募金、龍谷大学付属平安高等学校の生徒が取り組んだ募金の合計1,548,811円を熊本県と大分県の被災された方のために、10月6日(木)に京都府共同募金会に義援金として送る。
7/8(金) 7/11(月)	「平成28年熊本地震復興支援ボランティア活動」を実施 学内で公募した学生30名と引率の教職員3名で、阿蘇YMCAを拠点に、阿蘇市内、南阿蘇村でボランティア活動を行った。出発前には、学内で熊本の皆さんに向けたメッセージを集め、阿蘇YMCAに展示していただく。阿蘇での具体的な活動としては、阿蘇YMCAで実施される被災者のための「子どもフェスタ」の手伝い、仮設住宅への引っ越し、飲食店の再開のための掃除、学生アパートのガラスサッシの撤去及び貴重品出しの手伝い、法面の崩れ防止のための土壌積み、ごみ運搬作業、農業支援を行った。
7/21(木)	「平成28年熊本地震復興支援ボランティア活動報告会」を開催 深草キャンパスで復興支援ボランティアに参加した学生が、60枚の映像を見せながら、現地での様子や、地域住民との交流や活動を通じて、被災地域の雰囲気や感じたこと、学んだことなどを報告。
11/25(金) 11/28(月)	「第2回平成28年熊本地震復興支援ボランティア活動」を実施 学内で公募した学生30名と引率の教職員4名で、阿蘇YMCAを拠点に、阿蘇市坂梨地区にあるイチゴ農家で火山灰除去の農業支援ボランティア活動を行った。また、被災場所を全員で視察し、災害について学んだ。
12/16(金) 12/19(月)	「第2回平成28年熊本地震復興支援ボランティア活動報告会」を開催 12月16日(金)に深草、19日(月)瀬田で報告会を開催。両キャンパス合わせて約100名の参加があった。活動内容をコンパクトにまとめた5分のショートムービーの上映後、7つのグループに分かれて、ボランティアに参加した学生が活動内容や活動中に感じたことなどを報告。

主な活動は、左の表の通りです。学生の声に応じて、学内での募金活動を皮切りに、被災地に向かう前に必要な情報を伝えるためのボランティア・ガイダンスの開催やボランティア募集状況の提供など、学生の声に耳を傾けながらその時々に必要なと思われることを実施しました。

それに並行して、平成28年熊本地震復興支援ボランティア活動に向けた準備を行い、7月と11月に実施しました。現地向かうボランティアバスは片道約12時間。往復車中泊。足を延ばして寝ることが出来るのは1日だけという3泊4日のハードスケジュールでしたが、学生達は真摯に取り組み、地元の方から喜んでいただくことが出来ました。被災地の状況は刻々と変化しており、予定通りに進まないことも多々ありましたが、学生の安全確保を最優先にしながら、臨機応変に現場で一番に求められていることは何かということを大切に活動を行いました。

活動の合間に被災状況を視察すると、学生達は自然の驚異に言葉も出ない様子でしたが、そのような困難な中でも、前向きに頑張っておられる地元の皆さんの姿から多くのことを学び、気付きを得ていました。

復興支援ボランティア活動後は必ず活動報告会を実施し、ボランティアに参加した学生自身が語る場を作っています。学生は語ることによってより学びを深めながら、参加できなかった学生、教職員の興味関心を高める努力をしています。



第1回・法面の補強作業の様子



第2回・イチゴ棚下の火山灰撤去作業の様子

第2回熊本地震復興支援ボランティア活動を通じて



『復興支援活動から学んだこと』

法学部 法律学科 4年生

なかむら ゆうすけ
中村 勇介 さん

今回の活動を振り返ってみて、現地での活動期間は2日と短い期間でしたが、学ぶことが非常に多い2日間でした。

平成28年10月8日に起きた阿蘇山の噴火は阿蘇一部地域に火山灰を降らせ、甚大な被害をもたらしました。私たちは被害を受けたイチゴ農園を訪れ、地面や木柱に付着した火山灰の撤去活動に取り組みました。イチゴ農園は予想以上に広く、これを普段、数人で撤去する大変さを考えると驚くばかりでした。私自身、平成28年熊本地震で経験した辛い気持ちや少しでも和らげられるような存在として熊本を訪れたいという思いで復興支援ボランティアに参加しましたが、災害に負けることなく前を向いて進んでいる姿に逆に感銘を受けました。

過去の例を見ても、大震災は豊かな生活を送っていた人々を瞬時に絶望へと突き落とす力を備えており、誰もが起きてほしくないと考えられる災害の1つです。今回の平成28年熊本地震も同様、たくさんの尊い命を奪い、建物や橋の倒壊、崖崩れ等復興の用途はいつ立つのか先が見えない中、噴火も重なるという被災者にとってこれほどまでに厳しい現実を突きつけました。

その中で、それでも前を向いて進んでいく現地の方々の姿を目の当たりにしました。それは今回の復興支援活動に参加した私たちだからこそ知ることができたことです。この現状を微力ではありますが、家族や知人に伝えることで被災者が恐れている風化の防止、並びに今回学んだ教訓を次の災害に活かしていこうと強く感じました。



『熊本の“今”を感じて』

社会学部 地域福祉学科 4年生

まつやま ゆか
松山 夕夏 さん

私は4年生ということもあり、学生としてボランティアに行けるのは今回が最後ということ、被災地に行き何か力になれないかと思い、熊本地震復興支援ボランティアに参加しました。今回のボランティアは熊本地震で被害の大きかった現地の視察、10月の阿蘇山噴火で被害を受けたいちご農園の火山灰除去をしました。現地の視察では、メディアでの報道が少なくなってきた熊本の「今」の姿を感じることができました。私は自然災害に遭ったことがなく、なかなか想像ができませんでしたが、現地に行き阿蘇大橋の崩落、地盤沈下や隆起、地震で崩壊した家屋を見て言葉を失い、自然災害の恐ろしさを感じました。

いちご農園での火山灰除去作業はいちごのプランターの板の間の火山灰をこすり落とし、床に落ちた火山灰をほうきで集め、水気を含み重くなった火山灰を一か所に集めるという作業でした。地味な作業で、そんなことやってきたの？と思われるかもしれませんが、農家の方3人でこの作業をするとなると途方もない作業だったと思います。重くなった火山灰を集める力のある人や、腰をかがめながら作業するのは若者だからこそできることだったのかなと思いますし、何より農家の方の笑顔を見ることができて、力になれた、貢献できたと感じることができて本当に良かったなと思いました。今後は熊本に観光へ行くなどボランティアでなくても別の形で貢献できたらと思います。熊本への関心を持ち続けたいです。



『大地の力とヒトの想い』

文学部 歴史学科 日本史学専攻 3年生

いけだ しおり
池田 志織 さん

熊本地震から半年が経っても、地震当時に崩れた家や橋、山の斜面はそのまま残されていた。さらには余震や雨で土砂崩れは悪化し、電柱や室外機はまるでオモチャが崖に転げ落ちていたようだった。目の前に広がる景色が現実のものとは捉えられず、移動バスの窓がテレビ画面のように思えた。

阿蘇はぐるり1周を山に囲まれたカルデラ地形で信州育ちの私はこのような景色は見たことがなかった。山の斜面を見ると長い年月をかけ少しずつ崩れている形跡がある。

『みなさまに支えられて…感謝。』



ボランティア・NPO活動センター
センター長
(経営学部 教授)

松永 敬子

平素より、親和会のみなさまには大変お世話になっております。

特に本年度のはじめには、2016年4月に発災した平成28年熊本地震を受け、学生有志(熊本県・大分県出身の学生とセンターの学生スタッフが中心)による募金活動をサポートして参りましたが、全国保護者懇談会等におきまして、親和会並びに校友会のみなさまには多大なるご協力を頂きました。改めまして、心より御礼を申し上げます。

みなさまからのご支援は、学生等の学内募金箱への協力、教職員からの募金、そして、龍谷大学付属平安高等学校の生徒が取り組んだ募金と併せ、1,548,811円を熊本県と大分県に被災された方のために、京都府共同募金会に義援金として送らせて頂きましたことをご報告をさせていただきます。

2001年に設立されたボランティア・NPO活動センターも16年目を迎え、設立当初の活動の軸であった国際協力、社会福祉、環境保護、地域貢献などのボランティア活動に加え、現在では災害ボランティア活動への支援が多くなっています。今回の熊本地震復興支援

カルデラ地形も火山が崩れて周りだけが残されて今の形が出来ている。

土地が形成する時間を考えると、人間はちっぽけな存在だ。自然から見たら本当に短い時間で人間が住み着き、そして地球の変動に偶然遭遇してしまったように感じた。火山灰は一例である。一瞬で周囲数キロに降った灰を人の手でかき集めるのだ。どれほど途方もないことかと思った。

しかし、火山灰の撤去作業をすると塵も積もれば山となり、葎のビニールハウス内がみるみる綺麗になっていった。

ちっぽけだと感じていた人間は、力を合わせれば大きな動力となった。さらに、どのようなことに遭おうとも、その土地を愛し、再びここで頑張るという信念の強さを今回のボランティアを通じ、現地の方々に教わった。

ボランティア活動だけでなく、2011年3月に発災した東日本大震災の復興支援活動も6年目を迎え、学長のもとに設置されている「東日本大震災等復興支援プロジェクト」の活動支援は、センターの重要な業務のひとつとなっています。センターでは災害ボランティアの活動支援を引き続き実施させていただきます。大学ホームページ等では、みなさまからの寄付も募っております。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

もちろん、災害ボランティアだけではなく、今年度のセンターの学生スタッフによるボランティア活動新企画(動物愛護、子どもの貧困、スポーツボランティアなど)にも反映されているように、ボランティア活動はますます多様化しています。ボランティア・NPO活動センターでは、学生・教職員の「何かしたい!」という思いと地域や各団体等の「サポートしてほしい!」という思いをつなげ、ボランティア活動への誘いと自立を促進するサポートを続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、2016年11月に長年のボランティア活動の功績が認められ、「平成28年度ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受けました。西日本の大学では初めての受賞でした。これもみなさまのご支援とご協力があったことでございます。心より御礼を申し上げます。

この表彰に甘んじることなく、ボランティア活動を共生教育のひとつとして位置づけ、思いやりと責任感のある行動的な人間を育成するためにさらに努力して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



■ インターンシップ体験記

職業現場を体験して、自分の将来を見極めるインターンシップ。実際に参加した学生の声です。

国際文化学部 国際文化学科 3回生

きたがわ ゆうな
北川 侑奈 さん

インターンシップ先 龍谷大学付属平安中学高等学校

出身高校 京都府立東宇治高等学校



インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

協定型インターンシップは、実際に実習先で業務をさせていただけるのももちろんですが、それだけではなく、事前事後学習を通して就職活動に必要な知識やマナーを学ぶことができます。何から就職活動を

始めたら良いのか不安だった私にとって、これだ!と思い応募しました。1DAYのインターンシップではなく、比較的長期間のインターンシップなので、より深く『働く』ということについて知ることができるのも魅力でした。

インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

私は自分から積極的に行動する事を常に心がけていました。その結果、直接お世話になった部署の方々だけではなく、たくさんの方々とお話する機会をいただけたことがとても嬉しかったです。話を聞ける機会が多いほど、新しい発見もたくさん生まれ、視野が広がった

と実感しています。また、業務内容ややりがいでだけでなく、日々の中で大切にすべきことなども、実習を通して学ばせていただき、有意義な期間を過ごすことができました。

インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

一番大切なのは、受け身でいるのではなく、より多くのことを学ぶための意欲を出して行動することだと思います。実習先の企業や団体の方も、お忙しい中でインターンシップの受け入れをしてくださっているので、

感謝の気持ちを忘れずに実習期間を大切に過ごしてほしいです。学生の内にしかできない貴重な経験になるので、何事も楽しむ気持ちでチャンスを逃さず、ぜひチャレンジしてみてください!応援しています!

理工学部 情報メディア学科 3回生

みやい りゅうた
宮井 颯汰 さん

インターンシップ先 株式会社読売新聞大阪本社

出身高校 私立追手門学院高等学校



インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

龍谷大学理工学部ではインターンシップに参加しないと卒業することができないということを知った時に、どうせ参加するならば自分が本当に興味のある企業で、有意義なインターンシップを経験し、価値のある単位を取得したいと考えました。そこで、事前・事後学習が充実しており、インターンシップに取り組む準備や、

インターンシップ後のフィードバックを徹底している協定型インターンシップを選択し、企業一覧の中で大手企業であり、かつメディアに興味があるという理由で、株式会社読売新聞大阪本社のインターンシップに参加することを決意しました。

インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

まず初めに、望み通りとても良い経験ができたと感じています。インターンシップのカリキュラムはすべて企業側で決められており、とても濃密で、とても充実していました。中でも大阪府庁、知事室の訪問(知事のイスにも座りました)、オリックス球場のベンチでの練習

見学(有名選手が目の前を通ります)、実際の一眼カメラを使っての撮影、取材、原稿の執筆など、普段では決して経験することができない貴重な経験を今回のインターンシップで体験することができ、参加してよかったと強く思っています。

インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

緊張するとは思いますが、企業が求めているのは若い我々“学生”にしか出ることができない元気で明るい姿勢だと思います。笑顔と愛想の良さ、素直さ、そして何よりも楽しむことを心掛けてください。私は

自分が決して頭がよい学生とは思いませんが、それらを心掛けた結果、参加者9名中(龍大生以外は全員関関同立)一番、担当者の方に気に入られた自信があります(笑)

※ 協定型インターンシップ … 龍谷大学が独自で協定を締結する企業・団体などでの約2週間のインターン実習。事前・事後学習も充実しています。

社会学部 コミュニティマネジメント学科

おかち ともひろ

岡地 智大 さん

内 定 先 小野薬品工業株式会社

出 身 高 校 私立大阪青凌高等学校



就職活動を振り返って感じたことや実践してよかったことは何ですか

一番緊張したのは面接でした。しかしそうは言っても「緊張するのはみんな同じである」と考えるようにしたり、トイレに行った際に鏡に向かって笑顔を作ったりして緊張をほぐしていました。また、面接で爪痕を残

したいと考えていたのでチャンスがあれば面白い返答をしようと考えていました。今思えば、すごい精神力をしていたなと思います。

その企業に決めた理由は何か

私は漠然と人の力になりたい、使命感や責任感をもって仕事をしたいと考えていたため、医療業界1本で考えていました。そして3回生の夏に就職先のインターンシップに自分で応募し参加しました。そこで、300年と非常に歴史のある会社と知り、患者さんの

ために常に考え行動し、挑戦し続ける姿勢に共感しました。そして人事担当の方々の人柄も良く、自分もこの会社の一員となって働き、多くの方々の力になりたいと思えたからであり、会社を好きになったからです。

就職活動に際し、印象に残る親からのサポートや言葉などありましたら教えてください

エントリーシートを社会人の先輩である親や姉に読んでもらい、添削してもらったことに感謝しています。言葉使いや構成を見てもらい、学ぶことが多かったです。

また、製薬業界に関する新聞記事が見つければ教えてくれたり、取り置きしてくれたりと家族みんなでバックアップしてくれて心強かったです。

これから就職活動に臨む後輩へメッセージをお願いします

就職活動を“やらないといけない”と思うのではなく、“自分が成長できる機会”と思って取り組んでください。本当にいろいろな方達と出会い、今の自分に足りないところ、人より胸を張れるところなどたくさんのごとを学べます。“ただやっている”だけだと同じ失敗を

繰り返すばかりですが、“積極的な姿勢”で取り組むことで改善点に気づき、それを行動に移すことで成長する自分を感じることができて楽しくなってきます。そうすれば必ずと良い結果が手に入ると私は思います。

Information

2016年度後期成績表を送付いたします

学修状況の確認として、年2回(3月下旬・9月下旬)、学生への成績表交付の後、保証人宛にお子さまの成績表をお送りしています。成績表には、各期の採点結果の点数、修得単位数、卒業までに必要な単位数を掲載しています。学修状況の確認、親子間のコミュニケーションなどにお役立ていただければと思います。

なお、成績表や各種ご案内を送付させていただいたため、送付先住所(保証人住所)に変更がございましたら、必ず学生本人が各学部教務課窓口にて住所変更手続きをおこなってください。

全国保護者懇談会が5月から始まります

下記の通り5月13日(土)本学深草学舎を皮切りに7月中旬頃まで全国29会場、全国保護者懇談会を開催いたします。

(深草学舎では親和会総会と講演会も開催)

■2017年度全国保護者懇談会 開催一覧

地域	会場	開催日	開始時間
北海道	JRタワーホテル日航札幌	5月29日(月)	11:30
東北	ホテルメトロポリタン仙台	5月30日(火)	11:30
関東	パレスホテル東京	6月16日(金)	14:00
新潟	ANAクラウンプラザホテル新潟	6月15日(木)	14:00
富山・石川	ホテル日航金沢	7月3日(月)	14:00
福井	ユアーズホテルフクイ	7月4日(火)	13:00
長野	ホテルメトロポリタン長野	7月19日(水)	14:00
静岡	ホテルアソシア静岡	6月29日(木)	14:00
愛知・岐阜	名古屋マリオットアソシアホテル	7月18日(火)	13:00
三重	鳥羽国際ホテル	6月30日(金)	14:00
滋賀	大津プリンスホテル	6月11日(日)	14:00
京都	龍谷大学深草学舎	5月13日(土)	12:30
大阪	リーガロイヤルホテル大阪	7月16日(日)	12:30
兵庫	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	6月5日(月)	13:00
奈良	奈良ホテル	6月2日(金)	13:00
和歌山	ホテルグランヴィア和歌山	6月19日(月)	13:00
鳥取・島根	米子全日空ホテル	5月28日(日)	14:00
岡山	ホテルグランヴィア岡山	7月11日(火)	13:00
広島	ホテルグランヴィア広島	7月10日(月)	13:00
山口	ホテルサニールート徳山	6月13日(火)	14:00
徳島	ホテルクレメント徳島	6月18日(日)	14:00
香川	JRホテルクレメント高松	6月17日(土)	13:00
愛媛	松山全日空ホテル	5月22日(月)	14:00
高知	ホテル日航高知旭口イヤル	5月23日(火)	14:00
福岡	グランドハイアット福岡	6月9日(金)	13:00
佐賀・長崎	佐賀フジントホテルプラザ	6月8日(木)	14:00
熊本	ホテル日航熊本	7月6日(木)	14:00
大分	大分オアシスタワーホテル	6月12日(月)	14:00
鹿児島・宮崎・沖縄	城山観光ホテル	7月5日(水)	14:00

※4月中旬にお送りする開催案内をご覧ください。
※ご参加の場合、事前申込が必要です。

学校法人龍谷大学教育研究等振興資金 継続募集中(ご寄付のお願い)

現在、龍谷大学では、「You, Unlimited 龍谷大学で学ぶ全ての学生に無限の可能性を」のスローガンのもと、学生の成長を主軸においた事業を推進しています。本学の更なる教育・研究内容の充実や優れた人材育成等のため、ご支援いただきますよう、宜しくお願いいたします。

龍谷大学への支援(寄付)について

<http://www.ryukoku.ac.jp/contribution/>

龍谷ミュージアムのご案内

龍谷ミュージアムは、西本願寺の正面に位置する仏教総合博物館です。龍谷大学の長い歴史の中で蓄積してきた研究成果や貴重な学術資料などにより仏教の誕生から現代の仏教までの流れを示す平常展に加え、春と秋の特別展や企画展を開催しています。

親和会員(保護者)の皆さまには、本冊子裏表紙の無料ご優待券をご提示いただきますと無料で入館いただけます。

■2017年3月4日(土)～6月11日(日)

第25代専ら門主 伝灯奉告法要記念
春季特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅱ
—守り伝える美とおしえ—」

■2017年7月1日(土)～8月27日(日)

平常展「仏教の思想と文化」第1期

■2017年9月23日(土)～11月12日(日)

秋季特別展「地獄絵ワンダーランド」

■2018年1月9日(火)～2月12日(月)

2018年3月3日(土)～3月31日(土)

平常展「仏教の思想と文化」第2期

問い合わせ先: 龍谷ミュージアム ☎075-351-2500

ホームページ: <http://museum.ryukoku.ac.jp>

※上記の会期中には休館日があります。

開館スケジュールなどの詳細は龍谷ミュージアムホームページでご確認ください。



Schedule 2017年4月～9月

月	内容	日にち	対象
4月	学年始	1	全学共通
	入学式	1	文・済・営・法・政・国(各大学院・実践真宗舎)・短
		2	理・社(各大学院舎)・農
	履修指導期間	2～7	短
		2～8	文・済・営・法・政・国・大学院
		3～8	理・社・農
前期授業開始	8	短	
第1学期授業開始	10	学部・大学院	
履修辞退受付期間	8～12	学部・大学院	
	11・12	短	
	10	文・済・営・法・政・国(各大学院・実践真宗舎)・短(10日:5講時以降休講)	
5月	10・20	理・社(各大学院舎)・農(10日:5講時以降休講、20日:全学授業実施)	
	21	全学共通(終日休講)	
	創立記念日・降誕会	21	全学共通(終日休講)
7月	授業実施日	17(海の日)	全学共通
	前期授業終了	20	短
	前期定期試験期間	21～27	短
	集中補講日	24・25	学部・大学院
	夏期休業	28～9/13	短
	第1学期授業終了	29	学部・大学院
	第1学期試験期間	7/31～8/7	学部・大学院
集中・補講期間	7/28～8/10	短	

■Schedule [保護者用]

開催日	内容
5月12日(金)	2016年度第3回龍谷大学親和会役員会
5月13日(土)	2017年度[第56回]龍谷大学親和会定期総会
5月13日(土)	全国保護者懇談会(京都会場)
7月16日(日)	大学懇談会(大阪会場)

月	内容	日にち	対象
8月	定期試験予備日	6・7	学部・大学院
	夏期休業	8～9/9	学部・大学院
	一斉休暇	11～18	全学共通
	集中・補講期間	19～22	短
	追試験期間	19	理工・農(食品栄養)
9月	23～25	全学共通	
	サマーセッション①	28～31	学部・大学院
	サマーセッション②	1～9	学部・大学院
	第2学期開始	11	学部・大学院
	履修指導期間	11～19	学部・大学院
後期授業開始	14	短	
9月卒業式・学位記授与式・入学式	19	学部・大学院	
第2学期授業開始	20	学部・大学院	
授業実施日	23(秋分の日)	全学共通	

※略称 「文」=文学部 「済」=経済学部
「営」=経営学部 「法」=法学部
「政」=政策学部 「理」=理工学部
「社」=社会学部 「国」=国際学部
「農」=農学部 「短」=短期大学部
「学部」=全学部(短・大学院除く)対象
「大学院」=全研究科対象
「全学共通」=学部・大学院・短の全対象



保護者相談窓口のご案内

親和会では保護者(保証人)の皆さまの疑問に答えるべく、専用電話とメールアドレスを設けております。親和会事業についてはもちろんのこと、大学に対するお問い合わせ、相談、ご要望など、お気軽にお寄せください。

保護者
相談窓口

親和会事務局直通電話: 075-645-2780 (9時～17時[土・日・祝日、大学一斉休暇日 休業])
メールアドレス: sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp